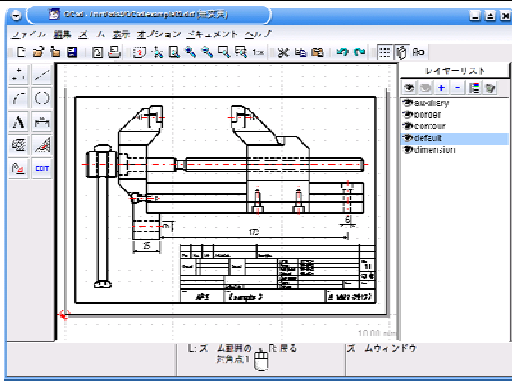
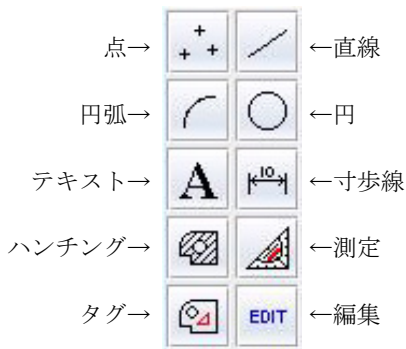


【QCAD】二次元 CAD ツール



QCAD はシンプルな二次元 CAD です。文字、寸法線、ハンチングなどを入れた図面が作成できます。また、多くの CAD で使われている DXF ファイル形式で読み込み、保存できます。

最初のボタンメニュー



左側のボタンメニューは階層構造になっており、ボタンを一つ選択すると、ボタンメニューが変化します。階層を戻すためにはマウスの右ボタンをクリックします。

直線のボタンメニュー

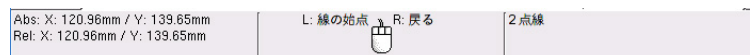


図形を描くには最初のボタンメニューから、「直線」や「円」などを選択します。左図は「直線」を選択した場合のボタンメニューです。この中から描き方を選択します。

点のボタンメニュー



直線のボタンメニューや円のボタンメニューで点を指定するような描き方（「2点線」など）を選択すると、ボタンメニューは左図のように変化します。このとき、画面の下にはカーソル位置の座標やマウスのガイド、現在のモードが表示されます。



ボタンメニューから点の指定方法を選択し、図面上をクリックすることにより、図形を描きます。

座標指定の解除や、メニューの階層を逆にたどるには、マウスの右ボタンをクリックします。

編集のボタンメニュー

移動→			←回転
拡大縮小→			←対称移動
移動+回転→			←2 中心 周りの回転
線分調整→			←2 線の 線分調整
指定量線分 調整→			←分割
ストレッチ→			←R面取り
C面取り→			←テキストを線 要素に変換
テキスト編集→			←削除
レイヤーに移動→			←原点移動
線種変更→			

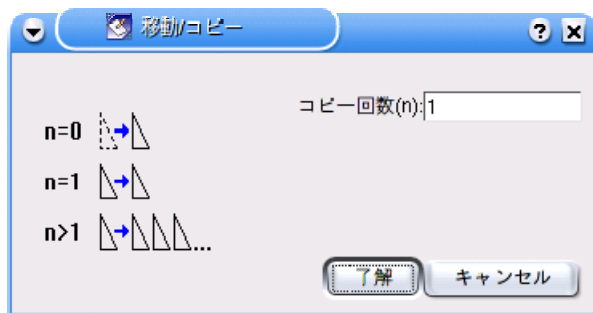
要素選択のボタンメニュー

すべての要素を非選択→			←すべての要素を選択
ひとつの要素を(非)選択→			←輪郭を(非)選択
範囲内を非選択→			←範囲内を選択
線を横切る要素を非選択→			←線を横切る要素を選択
選択、非選択の反転→			←レイヤーのすべての要素を(非)選択
二重要素の選択→			
			←実行

描いた図形などの移動やコピーは、最初のボタンメニューに戻って（右ボタンを何回かクリックすれば戻ります）

「編集」を選択し、編集のボタンメニューから「移動」を選択します。次に要素選択のボタンメニューから図形を選択方法を選んで図形を指定し、実行ボタンをクリックします。

実行ボタンをクリックすると点のボタンメニューになるので、指定方法を選択し、参照点を指定します。参照点を決めると、選択されていた図がマウスに付いて動かせるようになります。そこで目標の場所に移動してクリックすると次のようなダイアログが表示されます。



コピー回数に0を入力して「了解」をクリックすると移動になります。1以上の数字を入力した場合は、指定した回数のコピーが一度に行われます。

図面の閲覧関係のボタン

	再描画	現在表示している画面を再描画します。
	自動ズーム	すべての図形要素を表示する際に用います。
	ページズーム	図形の存在する部分だけを自動的に拡大します。
	ズームイン	クリックすると 1.5 倍だけ拡大します。
	ズームアウト	クリックすると 1.5 倍だけ縮小します。
	範囲拡大	範囲を指定して拡大します。
	パン・ズーム	現在表示している範囲を移動させる場合に用います。